

作成番号:0280

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

号数:2025-280

内容:体重が減ると心房細動(AF)のリスクが低下するか？

出典:Long-term weight change and transition of metabolic health status in middle life and the risk of atrial fibrillation.

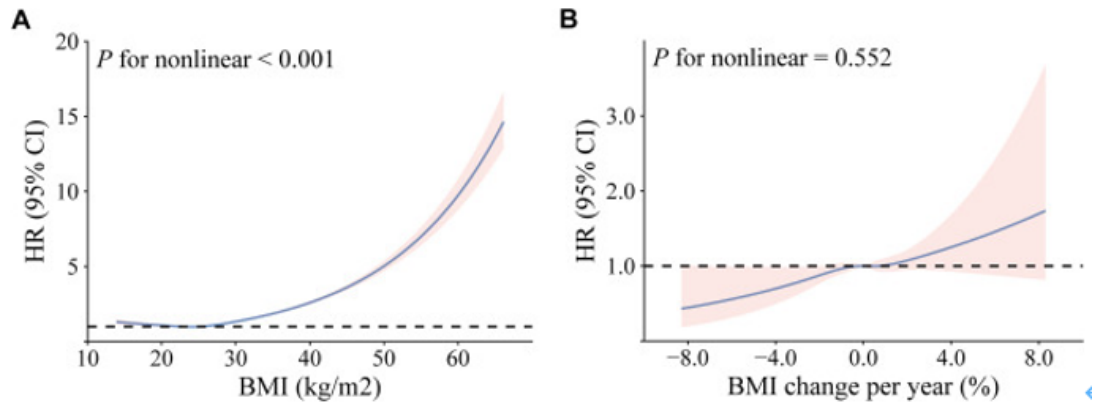
Heart rhythm. 2025 Mar 13; pii: S1547-5271(25)02177-0.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/40089048/>

肥満は脳心血管疾患のリスクとなるが、体重が減るとこのリスクも減らすことができるか。上海交通大学の研究者らは、体重変化と代謝状態の推移が心房細動(AF)のリスクに与える影響を研究し、その結果は、Heart Rhythm 誌 2025 年 3 月 13 日オンライン版に掲載された。

BMI (Body Mass Index、体重と身長から算出される肥満度を表す)変化とBMI-代謝健康状態の推移が AF に及ぼす影響を評価することを目的に、英国の UK Biobank を使用し、前向きコホート研究を実施した。490,969 人の参加者のうち、中央値 14.0 年の追跡期間で 33,297 件の AF 症例が観察された。過体重(ハザード比[HR]:1.12)および肥満(HR:1.74)は、AF リスクを有意に増加させた。BMI が年間 2%以上低下すると AF リスクは低下し(HR:0.75、95%CI:0.57~0.99)、とくに肥満から過体重への移行ではその傾向が顕著(HR:0.74、95%CI:0.54~1.02)であったが、統計学的な有意差は認められなかった。

BMI の年間 2%以上の低下は、とくに肥満から過体重に変化する人で AF リスクの低下と関連していて、AF の 1 次予防には、体重管理と代謝の健康維持が推奨される。



Non-linear associations between BMI and BMI change, and risk of AF Models were adjusted for age, sex, race, Townsend, education, employment, PRS for AF, history of CHD, history of stroke and history of HF, smoking, healthy drinking, healthy diet score, healthy sleep score, and MET minutes per week for moderate and vigorous activity. Reference point is 25 for BMI and 0 for BMI change, with knots placed at 5th, 35th, 65th, and 95th centiles. [↗](#)